

令和元年度南部町教育行政主要施策の点検・評価【人権・社会教育課】

教育方針・主要な施策	人権・社会教育課	R 元年度点検・評価委員会の意見（・）と質問（○） 質問については、事務局回答としています。
<p>4. 保・小中の連携を基盤としながら、地域や関連機関と協働した家庭教育の充実に取り組みます。</p> <p>(1) 子育てセミナーの充実</p> <p>(2) 親の学び・相談・仲間づくりとPTA活動の連携</p> <p>(3) アウトリーチ型個別支援の実施</p> <p>(4) 家庭や家族のあり方を考える場づくり</p> <p>(5) SSWによる福祉との連携</p>	<p>○アートスタート推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期に質の高い本物の芸術にふれ、子どもたちの豊かな感性と創造性を育むことを目的に、県と町の補助金を活用し、町内の団体主催で人形劇を開催した。128名（未就学児120名、保護者8名）の参加があった。 <p>○家庭教育支援員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てセミナーは、4保育園・こども園で実施し、延べ82名の参加があった。各セミナーの内容は、それぞれの要望を基に計画実施した。 ・就学前児の保護者を対象に、3小学校の入学説明会において、PTA主体で懇談や相談、仲間づくりができる場を設けている。 ・教育相談を担当する「子育て支援チーム」を教育委員会事務局員を中心に組織し、令和2年度新入生保護者へ案内を配布した。このチームで令和2年度末に個別訪問を行う予定にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭を巻き込んだ事業は成果が見えにくいですが着実に成果上がっていると思う。新たに「子育て支援チーム」が組織され、取り組み等々評価する。 ・家庭教育は地域振興協議会とも協力し合えるともっとすばらしくなると思う。今も連携はしておられると思うが、もう一歩前進するとよいと願っている。 ・地域に子ども会はあるが、あまり地域活動に参加されない。同じ家族が参加する傾向にある。 <p>○「子育て支援チーム」とは、どのようなメンバーであり、どのような取組（訪問の仕方や内容、対象家庭等）がされているのか。</p> <p>→（事務局回答）各小学校教頭、SSW、幼児教育専門員、公民館長、家庭教育推進員の9名で編成している。令和2年度の就学時健診で保護者に説明をする予定である。園からの情報等をもとに個別訪問を行い、保護者の悩み等を気軽に相談できる体制を構築していきたい。</p> <p>○「現代親育て？子育て？」と言われることがある。現代の親の特徴とはどんな感じか。</p> <p>→（事務局回答）子育てについての疑問や不安を気軽に相談する相手がいない。友達や地域に話せる相手がいない等、孤立化している保護者もいると感じている。</p> <p>○保護者会、PTAと連携した学びの提供について具体的な取組を教えてください。</p> <p>→（事務局回答）子育てセミナー・孫育てセミナーで学びの場を提供しているが、各園・小学校の保護者会・PTAの要望を基にセミナーの内容に反映させ開催している。</p> <p>○SSWによる福祉との連携について、具体的にどのような場面があるかお聞きしたい。</p>

		<p>→（事務局回答）主に義務教育修了後のより豊かな居場所づくりをめざして、米子児童相談所、町社会福祉協議会、相談支援事業所 JOCA、町要対協、町保健師、民生委員、町関係各課等、福祉との連携を図っている。</p> <p>○SSW 活用事業決算に、家庭環境の問題が 22 件挙がっている。対応はできているのか。</p> <p>→（事務局回答）学校の要請に応じた即時的な対応や福祉の視点の導入を進めることで、より充実した支援を行った。</p>
<p>5. 社会教育等関係施設を活用し、学び合い、つながり合う社会教育活動の充実に取り組みます。</p> <p>(1) 「はんどん楽校」の充実</p> <p>(2) 公民館活動の発信と地域への学びの還元</p> <p>(3) 他地域との交流や働く世代への学習機会の提供等新たな学びの創造</p> <p>(4) 図書館ボランティアによる図書館づくりの促進</p> <p>(5) レファレンス強化と大人の図書館の拡</p>	<p>○南部町公民館運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富有まんてんホールの必要な個所について適正に修繕を実施している。全国公民館研究集会（徳島大会）に参加し、先進的な取り組みを学ぶことができた。 <p>○公民館活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種公民館事業について、高齢者学級延べ 150 名、女性学級延べ 263 名で実施した。これまでの活動内容を見直しながら、公民館で学んだ成果を地域や各団体に還元される学びになるように、今後も適宜見直しを図りながらステップアップしていく方針である。 <p>○土曜の教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はんどん楽校を 5 教室、32 名の参加で実施した。参加する子どもと地域の大人で実施できる体制づくりを検討する時期に来ている。より多くの子どもたちが参加しやすいように、現在の通年制から随時参加できる参加方法の変更を検討している。 <p>○図書館資料整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 館で利用者に年 4,452 冊の資料購入を実施した。図書館資料は、図書館サービスの要であり、継続した整備と年次的に除籍等を実施しながら、利用者へ寄り添った蔵書の構築を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の完成により、社会教育活動の幅が広がってくると思う。多くの住民が期待をしているので、抽象的だが明るい場所づくりに努力したい。公民館、図書館がそれぞれの役割を大切にしながら、連携され、町が活性化される社会教育活動を展開していただきたい。 ・公民館が直接実施する学習講座は、高齢者学級と女性学級でよいのか。現代的な課題などいわゆる必要課題に対して学びの場を提供する必要があるのではないか。今時、女性だけの学習の必要はあるのだろうか。 ・土曜の教育支援において、参加する子どもと地域の大人で実施できる体制づくりを行うことは大賛成である。 ・図書館の蔵書の鮮度は図書館の質に関わってくる。利用者にとって魅力ある選書等々、計画的に積極的に揃えられており評価する。 ・非常勤職員の司書の採用が会計年度任用になり評価をしている。しかし、レファレンス、カンファレンス等資質のスキルアップが求められる職種なので、より良い人材確保のためにも正規職員として採用の努力をお願いしたい。 <p>○社会教育主事は、複合施設に配属されるか。</p> <p>→（事務局回答）社会教育主事を兼ねた公民館長及び人権・社会教育課において公民館機能を担当している職員を基礎として、複合施設活用の幅が広がるような職員体制を検討していく。</p> <p>○「はんどん楽校」の取り組みは、楽しみが多い。今後、どのような参加方法を検討されているか。</p> <p>→（事務局回答）幅広い参加を促すために、随時参加申込ができる方法を</p>

	<p>○図書館普及促進事業</p> <p>・読書まつりやおとなの図書館等の事業実施により、図書館の周知や利用者拡充のきっかけとなっている。幅広い年代へのアプローチや団体の育成等、図書館の継続的な利用へ繋げていく取組が必要である。</p>	<p>検討中である。</p> <p>○イングリッシュクラブの参加人数はどれくらいか。 →（事務局回答）小学5・6年生を対象に行っている。西伯地区では、36名で年間35回、会見地区では5名で年間33回開催した。</p> <p>○公民館活動事業において高齢者学級と女性学級の成果や学びの還元についてお聞きしたい。 →（事務局回答）高齢者学級においては、健康・仲間づくり、女性学級においては、学習意欲の向上や定着を図った。両学級の合同開催も行い、重なりを設けた。複合施設開館に向けて時代に合わせた企画を検討していきたい。</p> <p>○「返却ポスト」の利用状況は。設置の前後での相違がみられるか。 →（事務局回答）まるごう西伯店に設置している返却ポストの利用が多い。買いもののついでや休館日、夜間でも返却できる場所があることは利用者にとっての利便性が高いと感じている。</p> <p>○大人の図書館は現在月1回だが、今後についてお聞きしたい。 →（事務局回答）今年度は、10月までの月一回で実施を予定している。令和3年度以降は、複合施設の運営状況を考慮しながら考えていきたい。</p> <p>○図書館ボランティアの役割は大変大きいと思うが、現状はどうか。 →（事務局回答）雑誌の整理、新聞切り抜きの整理、広報等の吹込み、朝読書（西伯小、会見小）協力、おはなし会への協力など、図書館を支援していただく大きな力となっている。</p> <p>○レファレンスの活用具合はどうか。 →（事務局回答）一度でもレファレンスサービスを利用された方はいろいろな調べものに活用していただいている。また、西伯病院では医療文献の取り寄せを活用していただいている。</p>
<p>6. 地域振興協議会と連携しながら、青年団体を核とする町づくりや地域課</p>	<p>○社会教育総務事務費</p> <p>・全国大会、中四国大会へ社会教育委員を派遣し他県の取組を学んだ。また、社会教育委員の県外研修を初めて企画し、益田市・吉賀町の社会教育委員との</p>	<p>・子ども会及び青少年育成町民会議の見直しと再組織化を具体的に早期に南部町版を再編してほしい。その中で協議会と連携していただきたい。</p> <p>・複合施設を青年団の拠点にできないだろうか。</p> <p>・社会教育主事の養成について、学校の教諭が派遣されているとのことで</p>

<p>題の解決に取り組めます。</p> <p>(1) 地域振興協議会との連携</p> <p>(2) 高校生サークル及び新青年団の活動支援</p> <p>(3) 社会教育主事の養成</p> <p>(4) 社会教育委員のスキルアップと地域還元</p> <p>(5) 子ども会及び青少年育成町民会議の見直しと再組織化</p>	<p>つながりを持つことができました。</p> <p>○成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続きとっとり花回廊で開催した。8割を超える新成人の参加があった。高校生サークル、青年団が運営に関わることで南部町独自の成人式のスタイルが見えてきた。 <p>○高校生サークル国際交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12名の高校生が参加し、4泊5日の日程で韓国研修を実施した。ハンリム大学だけでなく、フェンソン女子高校とも交流した。現地研修はもちろん、事前学習会3回、事後学習会を3回実施し、参加者の満足度は高く、個人のキャリア形成には効果が期待できる。高校生年代で海外を経験できる町単独の事業は魅力的である。 ・参加者個人の学び及び高校生サークルへの関心を高めるためには大きな効果のある事業ではあるが、地域への還元やグローバルな人材育成という点においては、事業内容を検討する必要がある（令和元年度19名）。 <p>○青年団活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式での餅つきに向けて、もち米づくりを実施した。収穫したもち米は成人式で使用するだけでなく、町内4園のもちつき行事にも提供した（令和元年度58名）。 ・主体的な活動の展開が図れるよう、数千人規模の夏祭りを開催している徳島県石井町青年団を訪問し、組織の在り方や、企画・運営の進め方について学んだ。 	<p>あったが、学校教育の現場にもっと社会教育の視点を入れた研修が必要であると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、習い事、スポ少など様々な活動をしていて、いざ地域への活動となると、なかなか姿が見えない。親自体に協力体制が少なくなっている。協力して下さる親をどれ程知って、関わって、仲間を増やしていくことも大切かと思う。 <p>○高校生サークル及び新青年団の活動の広報は、どのようにされているか。</p> <p>→（事務局回答）高校生サークルは、中学3年生の卒業時に学校を訪問し、サークルへの入会募集を行っている。新青年団においては、広報なんぶで勧誘を行ったり、インスタグラムで活動の様子を紹介したりしている。</p> <p>○地域振興協議会との連携について、青年団は具体的にどのような活動を目標としているか。</p> <p>→（事務局回答）令和元年度は、東西町のさくらまつりや法勝寺地区の敬老会等に参加した。地域振興協議会開催の会に参加し、地域を知るとともに、自分の出番や役割等を探っている最中である。地域の課題を知る中で、自分たちにできることを考え、行動できる組織を目指している。</p> <p>○青少年育成町民会議の見直しの現状やプランはどのようになっているか。</p> <p>→（事務局回答）青少年育成町民会議と町子連が連携した会議や組織の見直しを検討しているが、まだ実現に至らないのが現状である。</p>
---	---	--

<p>7. 里地里山に学びながら、郷土の歴史や文化を保存・継承し、町づくりや地域づくり、ふるさとの誇りづくりに活かします。</p> <p>(1) 法勝寺電車の有効活用</p> <p>(2) 各種文化財保存会活動支援の充実</p> <p>(3) 祐生出合いの館発信力の強化</p> <p>(4) 指定文化財の維持管理</p>	<p>○文化財保護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化財の適正な保護を図るため、緊急度により対応している状況だが、補助金等経費的な支援と人的支援がバランスよく行われるよう、職員の力量を上げることが課題である。 <p>○金田瓦窯跡調査保存管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毀損の恐れのある状態は継続しているが、3か年の調査で、記録保存の目的は達成された。今後は専門家と連携し、活用面も視野に入れた保存方法・方針を検討する。 <p>○板祐生記念館活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年所蔵品の展示を含む特別展を企画・運営し、板祐生の業績を広く伝えるよう取り組んでいる。令和元年度入館者数は3,064名であった。施設の老朽化による修繕が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの文化もとても魅力的である。その中でも見える化されている法勝寺電車は、ひと工夫すれば何かできそうな気がする。具体的なPRがあるとい。 ・板祐生記念館での年間15企画は素晴らしい。ラジオやテレビの広報もよく行われている。記念館という名称なので、南部町の顔となってもおかしくない。 <p>○複合施設での活用方法はどのような内容を検討しておられるか。</p> <p>→(事務局回答)複合施設内に里地里山を学習するコーナーを設置予定としている。文化財保護審議会委員の方からの意見もいただきながら、町の自然や文化、芸術等に関するものを展示していきたい。</p> <p>○法勝寺電車を活用したイベントの開催は検討されているか。</p> <p>→(事務局回答)平成30年度に法勝寺電車ウォーク、電車の清掃等を行った。令和元年度は特段のイベントは開催しなかったが、2022年は法勝寺電車100周年にあたるので、イベント等を開催したい。</p> <p>○文化財審議会の現状と活動についてお聞きしたい。</p> <p>→(事務局回答)文化財保護審議会は、7名の委員で年2回開催している。町文化財行政の現状確認、課題に対する意見交換等を行っている。イベントや発掘調査等にも参加いただき、指導や助言もいただいている。</p> <p>○金田瓦窯跡は、今後どのような活用を考えているか。また、金田瓦窯跡資料は閲覧できるか。</p> <p>→(事務局回答)平成29年度から調査を行い、令和元年度で調査は終了した。令和2年度に保存方法について先進地の事例を確認する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により、視察が中止となっている。次年度以降、活用の方向性について検討していく。</p> <p>○板祐生記念館では、小学3年生の見学のほかに、児童生徒が板祐生を深く知る場があるだろうか。地元の方にとって、板祐生はどんな存在であるのだろうか。</p> <p>→(事務局回答)板祐生記念館での学びは南部町のよさを認識することにつながる。現在緑水湖一体での取組を協議する会も立ち上がっている。</p>
---	--	--

<p>8. スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツを通じた仲間づくり、健康づくりを推進します。</p> <p>(1) 年少期のスポーツ環境の充実</p> <p>(2) 体育協会の見直し</p> <p>(3) 中学校部活動と総合型地域スポーツクラブの連携強化</p>	<p>○スポーツ・文化表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総数として被表彰者の数は162件で前年度比1.2倍に増加した。平成30年度に新設したスポーツ特別賞、文化特別賞は該当がなかった。被表彰者の固定化は否めない。 <p>○保健体育総務費事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成団体や競技者へ補助金等を交付した。今後も補助金の交付等の支援を行うことにより、生涯スポーツの普及、発展の推進に繋げる。 <p>○総合型地域スポーツクラブ支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用会員1,107名で今年度も増加(前年度1,044名)した。令和3年度から町体育協会をクラブに移行予定であり、スポーツの拠点としての組織強化を連携して構築する。 <p>○公園管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園して30年以上が経過しており、施設の修繕を適宜行っている。令和元年度は、主なものとしてテニスコート横トイレの修繕を実施した。今後も適宜修繕を行い、利用者の利便性の向上を図り、利用促進に努める。 <p>○グラウンド管理事業(会見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数は令和元年度7,788名(前年度7,615名)で若干増加した。中学校部活やジュニアチームなどの減免利用が多い施設であるが、一般利用についても指定管理者と連携し、利用を増やしていく。 <p>○町民体育館管理事業</p>	<p>また複合施設開館にあたって、板祐生のコレクションを展示し、子どもたちが学ぶ場を設置したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポnetなんぶの活躍に期待している。 <p>○公民館活動以外で入賞した場合、学校で紹介してはもらえるが、その後の賞状・トロフィーなどの保管場所が無い。複合施設に展示するスペースはないか。</p> <p>→(事務局回答)町民の方に披露する目的で一時的に展示することは可能であるが、長期間保管する場所を設けることは難しい。</p> <p>○体育協会の現状をお聞きしたい。</p> <p>→(事務局回答)町体育協会理事会において、令和3年度に体育協会がスポnetなんぶに移行することが了承され、現在各部の意向を調査している状況である。</p> <p>○中学校部活動と先生の勤務時間の見直しによって部活動に割ける時間がないように聞いているが、今後どのように取り組まれるのか。また総合型スポーツクラブとの連携強化の現状についてお聞きしたい。</p> <p>→(事務局回答)部活動においては、部活動指導員2名及び運動部活動外部指導者4名を配置し、専門的知識や技術を基に指導を行った。部活動指導員は、単独での指導や大会引率が可能であり、教職員の部活動に関わる時間や負担の軽減にもつながっている。総合型スポーツクラブと連携しながら、指導者の確保にも努めたい。</p>
--	--	--

	<p>・利用人数は令和元年度 16,326 名 (前年度 14,239 名) で若干増加した。指定管理者の PR などにより減免ではない団体の利用が増え、使用料収入は増加している。昼間の利用は依然として少ないので、指定管理者と連携して利用の促進を図る。</p> <p>○東長田山村交流施設管理事業</p> <p>・運動会が中止となり、それ以外の利用も少ない状況であった。雨天でもスポーツができる利点を一層アピールするなど利用促進を図ることが必要である。</p>	
<p>9. 人権感覚を磨き、身の回りの差別や不合理に気づく地域学習、行動化につなげる啓発活動の充実に努めます。</p> <p>(1) ミカエルセミナーの充実</p> <p>(2) 地域振興区別人権学習の充実</p> <p>(3) 町内企業施設研修の支援</p> <p>(4) 町民人権意識調査及び実態調査の実施分析</p> <p>(5) 人権総合計画及び実施計画の策定</p> <p>(6) 町人権会議の取り組み充実・強化</p>	<p>○人権対策事務費</p> <p>・ミカエルセミナー 4 回 (参加者延べ 334 名)、地域での人権学習会 39 回など身近な課題を取り上げ、学習が進んでいる。人権・同和教育研究集会では年間の振り返りや今後の方向性などを確認し、共有することができている。</p> <p>○就職奨励金支給事業</p> <p>・特別支援学校や両隣保館等に対象者の照会を行い、交付申請を促し 5 件の実績があった。引き続き事業を実施し、就職について特に援助を必要とする方への一助とする。</p> <p>○人権啓発地方委託事業</p> <p>・ミカエル人権フェスティバル (人権コンサート、展示と体験コーナー、人権の花贈呈式) を開催し 230 名の参加があった。今後も人権コンサートを継続し、人権への気づきや人権を感じる機会を提供する。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの会合や行事が中止になっているが、人権に関する事業は何らかの工夫をして継続していただきたい。</p> <p>○地域振興区別人権学習の充実において、法勝寺地区は集落単位で人権委員を選出している。会を催しても参加がない状況であるが、地区内での学習の充実をどう図ればよいか。</p> <p>→ (事務局回答) 地域振興区別人権学習やミカエルセミナーにおいては、年々参加者が増加する傾向にある。集落内実施において参加者数が少ない課題に対しては、人権啓発専門員と地域が連携しながら課題解決に当たりたい。地域にとって必要な課題を取り上げ、参加者が自分事として捉えることができる研修会にしていきたい。</p>

<p>10. これまでの同和教育の歩みを踏まえ、地域や家庭と連携しながら保・小中一貫した人権教育の取り組みをすすめます。</p> <p>(1) 南部町 15 年人権プログラム(ミカエルプログラム)の実践</p> <p>(2) 保小中の保育・授業実践の交流と合同研修の実施</p> <p>(3) 隣保館と連携した地区学習会の充実</p>	<p>○社会同和教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学奨励金について広報や中学3年生全員に卒業前に文書を配布するなど、制度の周知を図った。交付決定者は 42 名であった。引き続き事業を実施し、就学支援を図る。 <p>○生活相談員設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な支援提供を目的として区内を計画的に個別訪問している。傾聴が主であり、主体的な活動は見られないため、業務の見直しを全面的に行う。 <p>○隣保館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流や地区学習会などの事業など、地区を対象とした学習が定着、活性化している。地域の拠点としてだけでなく、町の人権拠点の役割を意識した活動を検討する必要がある。 <p>○老人館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性を目標とし様々な活動に取り組んでいるが、区内にとどまらず対象を広く捉えた活動にシフトしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育は、年代に合わせて繰り返し、繰り返し取り組まなければならない根気の必要な啓発学習である。様々に工夫された事業は、担当者の苦勞が感じられる。 ・人権教育は、生きていくうえでとても大切なことである。学校現場は取り組むべきことがあまりにも多くて大変だと思うが、これだけは自慢できるという強い気持ちをもって、子どもたちのご指導をいただきたい。 <p>○生活相談員について、傾聴から主体的な活動へ転換するための業務の全面的な見直しとは、具体的にどんなことをされるのか。</p> <p>→ (事務局回答) 隣保館の学習会に生活指導員も加わることで、児童生徒とのつながりを深め、将来的には若者の進学や進路等の相談者となるような活動も行っていきたい。</p>
<p>教育方針・主要な施策</p>	<p>教育委員会事務局</p>	<p>R 元年度点検・評価委員会の意見(・)と質問(○) 質問については、事務局回答としています。</p>
<p>11. 多岐にわたる教育課題の解決に資する教育委員会事務局、保育園・小中学校及び社会教育施設等の体制(支援態勢)を整備し、教育行政推進体制の充実を図りま</p>	<p>○教育委員会費事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会研究協議会西日本ブロック(鳥取市)や市町村教育委員研究協議会(文科省)での研修会等に参加し、教育環境を取りまく状況変化の理解や委員同士の交流が図られた。南部町の学校教育、社会教育の推進に参考となった。 <p>○教育の日事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中一斉公開、教育月間のポスターの作成、配布により町民への周知を図った。「南部町教育の集い」 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会構造の変化に伴い ICT の活用が教育の中に重要な要素となってきた。「教育の情報化に関する手引き」が作成され教師や学校、教育委員会等の参考となされ、スキルアップが求められるのは良い事である。しかし、日々進化する 5G について行くのは大変であり、酷である。そこで、教員の先生方の相談に乗れる ICT 専門官(仮称)が置けないか検討願いたい。 ・今後、ソサイエティ 5.0 の概念が大きく影響していくことと思う。同時にネット、ゲームについて大きな問題となる。親が予想もしていなかった内容のネット、ゲームに参加している実態がある。現状を把握するこ

<p>す。</p> <p>(1) 組織の充実・強化</p> <p>(2) 主要な教育課題への取り組み</p>	<p>は台風接近のため中止となった。令和2年度も新型コロナウイルス感染症流行のため、開催は難しいが、「ネット・ゲーム依存の実態と予防」に関する研修は今後ますます重要となってくるので、引き続き、開催を検討していきたい。</p>	<p>とが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育館に大型扇風機の設置計画があると聞き及んでいるが早目の実施を望み評価する。 ・日々、大変な教育課題に向き合い努力していただき、感謝している。いつも笑顔で対応いただき、職員のあたたかさを感じる。子どもから大人まで、「あそこに行けば話が聞いてもらえる」というような雰囲気職員集団であり続けていただきたい。 <p>○文科省は、「GIGA スクール構想」の加速による学びの保障として令和2年度補正予算額 2,292 億円の経費が計上された。児童生徒 1 人 1 台端末整備の前倒しや、在宅・オンライン学習に必要な通信環境の整備等の支援との事だ。一方、ICT 活用教育アドバイザーボードが設置されたが、ICT 活用教育アドバイザーの名簿では百数名の中、鳥取県在籍は一人であり心配をする。コロナ禍など、学校の臨時休業等の緊急時に備え、ICT 活用により、どのような地域でも子ども達の学びを保障できる環境でありたい事は町民すべての願いと思う。教育委員会のみ課題ではないので対応が難しいと思うが、南部町の構成はどのようになっているのか。</p> <p>→（事務局回答）GIGA スクール構想において、児童生徒に 1 人 1 台の端末を整備するよう進めている。有効に活用できるよう、校長会や ICT 担当者会で協議している。また、令和2年度には ICT 活用教育アドバイザーを全校に招聘し、研修会を開催する予定である。</p>
--	--	--